



「知的わくわく磁性流体モデル」を大学と中学校が協働で実現し、科学のわく組を動かせる次世代理系人材を育成する

午前：「鈴木-宮浦カップリング」ノーベル賞の化学反応をやってみよう！

午後：「宇宙惑星物質化学の世界」

2024年7月20日（土）

午前は、岐阜医療科学大学の萬代先生を講師としてお迎えし、ノーベル賞の化学反応を体験しました。中学校では、物質の性質が変わることで別の物質になったと判断することを学びます。UVの光源を使うことで反応前後の性質の違いがよくわかりました。



ピペットの使い方は、中学校でも学びます。その道具を使う技術は、研修者になっても使う技術であると感じてきたのではないのでしょうか。



午後は、岡山大学惑星物質研究所の小林先生から、研究活動の紹介をしていただきました。仮説を作り、それを実証する証拠を見つけてくる営みであることで、そこに面白さが潜んでいることを学びました。8月21日は、バスで惑星物質研究所を訪問します。リュウグウのサンプルに出会えます。

